

InternetWeek2013

モバイル時代のインターネット～ソーシャルプラットフォーム設計最前線から～

# モバイル時代のインターネット パネルディスカッション



GMOインターネット株式会社  
中里 昌弘  
masahiro-nakazato@gmo.jp

## 3年前からの変化 >とあるインフラサービス企業

- ・ 使用データセンタ数が数倍に
- ・ IX,トランジットを10Gに変更
- ・ ラック規模が数倍になった
- ・ IPv6アドレスをサービスに使用開始
- ・ サーバ接続は100Mから1G、一部10Gへ
- ・ ネットワークケーブルは作成から買うように
- ・ 機器設定をプロビシステムに任せる割合の増加

## 3年後の姿 >とあるインフラサービス企業

- ・ 海外含めた拠点数の増加(遅延やDR対策含め)
- ・ IX、トランジットは100G接続と10GLAG接続の混在
- ・ ラック規模はさらに数倍に
- ・ IPv4のアドレス不足とIPv6アドレスのユーザへの普及によるIPv6ネイティブサービスの増大
- ・ サーバ接続が1Gから10Gへシフト、一部40G、100Gへ
- ・ 光とtwinaxが主流に
- ・ 社内外クラウドが主流になり機器設定は殆ど行わなくなる
- ・ API化に代表されるプログラミングの仕事が増える

## 3年後のモバイル予想

- ・squareのような端末決済の仕組みが増えてくる

=> モバイルトラフィックの信頼性安定性の向上が前提

- ・モバイルトラフィックの帯域と信頼性が担保されてくれば  
ストレージサービスは加速する

=> 便利なものは必ず普及する

- ・クラウドサービスで蓄えた大規模化ノウハウは次にくる  
新しいサービスの波に活用される

=> twitter, facebook, カードゲームの次はなんでしょう？

=> これが出来たのであれが出来、あれが出来るのでそれが出てくる、

## モバイルとIPv6 =>クラウドネットワーク側

- ・ネットワーク機器自体は対応は容易、サーバ側は大変

=>ただしFWやロードバランサはIPv6を有効にするとIPv4のスペックが落ちる場合がありそれが一番の懸念事項

=>提供中のクラウドサービスでIPv6を有効にする時は作り変える時

- ・IPv6対応を意識して機器のリプレース計画を立てている

=>遅くとも3年後には全ての機器でデュアルスタック対応



IPv6VPSサービスのマスコット「美雲このは」

# END OF SLIDE

ご清聴ありがとうございました

